学校番号	T3017

令和８年度　学校設定教科

教科	（学）総合	科目	（学）集団活動Ｂ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本講座は、下記を目的とする。
・設定された目標に対し、具体的な作業計画（WBS など）を立案し、チーム全体で遅滞なく実行に移す力を強化する。（実行力）
・活動の途中で生じた問題点や非効率な点をチーム内で共有し、KPT 法などの手法を用いて活動プロセス自体を改善する能力を養う。（問題解決能力）

2　学習の到達目標

【知識・技能】
PDS サイクル、WBS、KPT 法といったプロジェクトマネジメントのツールや手法を正確に理解し、活用する。
【思考・判断・表現】
調査データに基づき、課題を論理的に再定義し、問題発生時、KPT 法を用いて改善策を導き出し、それを実行に移すプロセスを明確に表現する。。
【主体的に学習に取り組む態度】
困難な課題に対しても、チームで粘り強く解決に向けて取り組み、チーム運営の効率化に積極的に貢献しようと努める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	授業ごとに必要な内容をプリントに記入する。 まとめや考察をプリントに記入する。	事項をまとめる力や表現力を高める。 あたえられた考察に対し、自分の考えを述べ、プリントに記入する。	それぞれの学習内容に対し、意欲的に取り組んでいる。 また、適切な発言を行っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	縦割り活動1	集団活動の実践を通して、コミュニケーション能力の向上を図り、自身の行動がチームに与える影響を体験的に学ぶ。	a: 集団での自身の役割を理解し、役割を果たす。 b: 他者や集団の課題を発見し、解決するための方法を分かりやすく表現する。 c: チームでの活動が円滑に進むように、役割分担をして、積極的に活動する。	プリントの記述	考察の内容	授業中の態度と発言
	集団活動1	PDS サイクルの理解。具体的な学級課題を選定し目標を設定。 WBS(作業分解構成図)の作成練習。タスクの優先順位付け、期間設定、役割分担を厳密に行い、実行計画を確立する。	a: 必要な情報を正しくに言葉にする。 b: 情報の取捨選択を的確に説明する。 c: 回数を重ねるごとに工夫し、必要な情報を見極めたり、適切な伝え方を考える。			
後期	集団活動2	活動の進捗と、計画通りに進まない原因を分析。 KPT 法(Keep, Problem, Try)を導入し、活動プロセスを改善する。	a: 必要な情報を正しくに言葉にする。 b: 情報の取捨選択を的確に説明する。 c: 回数を重ねるごとに工夫し、必要な情報を見極めたり、適切な伝え方を考える。			
	集団活動3	集団活動1を振り返り、課題解決に必要な情報の調査を、アンケートや簡易インタビュー等で行い、調査データを用いた課題の再定義を行う。	a: 必要な情報を正しくに言葉にする。 b: 情報の取捨選択を的確に説明する。 c：回数を重ねるごとに工夫し、必要な情報を見極めたり、適切な伝え方を考える。			
	縦割り活動2	集団活動の実践を通して、コミュニケーション能力の向上を図り、自身の行動がチームに与える影響を体験的に学ぶ。	a: 集団での自身の役割を理解し、役割を果たす。 b: 他者や集団の課題を発見し、解決するための方法を分かりやすく表現する。 c: チームでの活動が円滑に進むように、役割分担をして、積極的に活動する。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度